



平成25年度 特集展示（会期：平成25年3月16日（土）～6月23日（日））

出土貿易陶磁器の世界

—大宰府史跡と才田遺跡—

Kyushu Historical Museum Exhibition guide

1 はじめに

九州歴史資料館の第3展示室では、考古基準資料展示として、弥生時代～古代の土器・須恵器、古代の瓦など、分類・編年基準に即して陳列した展示を行っています。その中には、大宰府史跡等で出土した貿易陶磁器があります。古代から中世にかけて、海を越えて大陸より北部九州に舶来した貿易陶磁器ですが、中でも大宰府は博多・鴻臚館と並んで最も多く貿易陶磁器がもたらされた場所です。

今回の展示では、観世音寺出土資料を中心とした大宰府史跡出土の陶磁器をはじめ、中世の荘園との関連が考えられる朝倉市の才田遺跡出土陶磁器を中心に、交易によってもたらされた多様な陶磁器を紹介します。



才田遺跡全景
掘立柱建物跡の柱穴が多数見える。

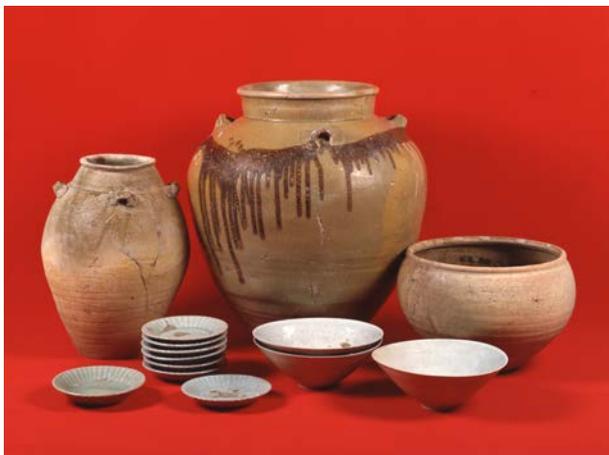
2 朝倉市才田遺跡と出土貿易陶磁器

朝倉市の南西部、入地^{いりじ}にある才田遺跡は、筑後川支流の沖積平野上に立地する奈良～平安時代の遺跡です。大分自動車道の建設に伴い、昭和59・60年度に発掘調査が行われました。

調査の結果、平安時代後期（11～12世紀）を中心とする掘立柱建物跡20棟、井戸1基、木棺墓2基、溝16条、土坑83基などで構成される集落遺跡が検出され、多くの貿易陶磁器が出土しました。特に50号土坑からは完形に近い青白磁碗や褐釉鉢のほか、白山神社経塚から出土したと伝えられるものと酷似する黄釉褐彩壺が見つっています（3章参照）。多数の掘立柱建物の存在や、膨大な貿易陶磁器の出土などから、荘園に関連した遺跡とも考えられています。



才田遺跡50号土坑
長方形の坑で、完形の陶磁器（左下の写真）が多数出土した。



才田遺跡50号土坑出土陶磁器



久山町白山神社経塚出土資料

3 酷似する二つの黄釉褐彩四耳壺

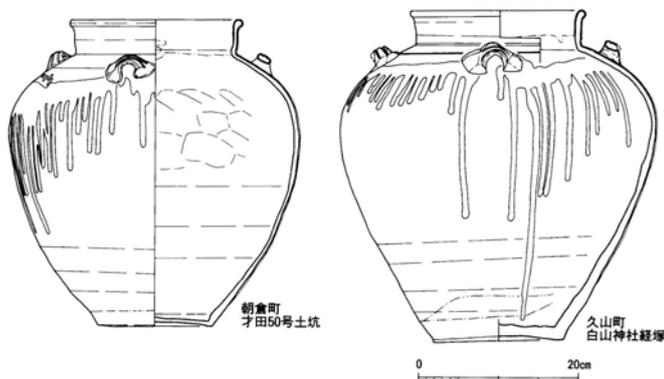
2章で紹介した才田遺跡50号土坑出土の黄釉褐彩四耳壺は、黄褐色の釉薬を外表面全体に掛けた後に、褐色の釉薬を肩部付近全体にわたって上掛けした優品ですが、これと酷似した製品が糟屋郡久山町白山神社経塚から出土しています(白山神社経塚出土資料は5月下旬まで本展にて展示しています)。

これら2つを見比べてみると、白山神社経塚例の方が肩部の張り具合がやや強く、そのため底部は大きい一方で、全体として引き締まった形状を呈しています。かたや才田遺跡例は、胴下半部がやや膨らみを持ち、安定感がある一方で、幾分鈍重な雰囲気(かも)を醸し出しています。底部付近の厚みは才田遺跡例の方が、薄くなっています。

このような違いはありますが、肩部付近を一周するように施された褐彩(鉄彩)の掛かり方や全体的な釉調は非常に似ていますので、同じ工人による作品といっても良いのではないのでしょうか。もしかしたら、同じ貿易船に載せられて日本に舶来したものかもしれません。

白山神社経塚例は、経筒の外容器として使用されたもので、経筒本体の青銅製経筒には、天仁2年(1109)の年号が刻まれています。この壺が11世紀末～12世紀頃に日本に舶来された可能性が高く、才田遺跡例も、ほぼ同じ時期にあたるかと考えて良いでしょう。

なお、この四耳壺は、中国福建省泉州市にあった磁灶窯(じそうよう)で焼かれたもので、中国北宋後半から南宋前半頃の12世紀のものであるとされていますので、製作されて日本に舶来するまで、さほど時間の開きはないようです。



黄釉褐彩四耳壺実測図 (左:才田遺跡出土例・右:白山神社経塚出土例)

4 大宰府史跡・観世音寺出土の陶磁器

冒頭でも述べましたように、大宰府は博多・鴻臚館と並ぶ貿易陶磁器の一大集積地でしたが、大宰府史跡の中でも、観世音寺は平安～鎌倉時代のものを中心にし、多くの貿易陶磁器が出土しています。古代では唐三彩の三足壺や絞胎陶枕などの日本国内ではめったに出土しない非常に貴重な陶磁器も見られます。平安時代後期(11世紀後半)以降になると、白磁や青磁など中国産の貿易陶磁器が大量に出土するほか、高麗やベトナムなど、中国以外の貿易陶磁器も出土しています。観世音寺が国際交易と密接に関わっていたことが推測される貴重な資料といえるでしょう。

今回展示している資料の多くは、普段は2階の第3展示室に考古基準資料として展示されています。当館にお越しの際には、第3展示室にも足を運んで、考古学の型式・編年研究の成果を、実物資料を通じて御観覧いただければと思います。(学芸調査室 岡寺 良)

【参考文献】

九州歴史資料館2007『観世音寺―遺物編1―』
福岡県教育委員会1988『九州横断自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書 48 福岡県朝倉郡朝倉町所在才田・東才田遺跡の調査』



観世音寺出土陶磁器

(上:中国の陶磁器(8~9世紀)・下:朝鮮半島の陶磁器(12~15世紀))



編集 発行:平成25年3月16日

九州歴史資料館
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

〒838-0106 福岡県小郡市三沢 5208-3
TEL 0942-75-9575 FAX 0942-75-7834
URL <http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/kyureki/>